

第3回

留辺蘂まちづくり協議会資料

温根湯温泉街再生整備計画策定に向けて	・・・・・・・・別冊
まちづくり協議会の進め方について（各委員からの発言要旨）	・・・・・・・・ 1

平成19年6月20日

事務局（総合支所 総務課）

まちづくり協議会の進め方について（各委員からの発言要旨）

今後の進め方について

- 1) 目指す留辺蘂自治区像を再確認しあいながら、留辺蘂らしい事業の発掘
- 2) 実施計画採択事業について、事業の進捗状況などを積極的に報告してもらい、協議会委員として、市民に尋ねられた場合、ある程度、説明できることが必要
- 3) 答申した事業がどのようなになったのか知るために、情報公開をしてほしい。まちづくり協議会でのチェックが必要

留辺蘂らしい事業

- 1) 瑞穂小中学校の存続と小中併置校での校舎改修、山村留学制度を取り入れた瑞穂小中学校の存続については、留辺蘂自治区独自の事業として位置づけ、まちづくり協議会としても、地域と連携しながら行政への働きかけをしていくことが確認されていますが、今後も継続して進めていくよう要望。

花のエリア・交流センター（花えーる）の利用について

- 1) 有効に活用する方法を市民と協働して進めていってはどうか。まずは、市民への周知に向け、PRポスターの掲示や活用についてアイデア募集を行ってはどうか。イベント等の開催で身近になるような工夫を
- 2) 機械の使用方法がわからず立派な機械も使えないため、早急に指導者の設置が必要

留辺蘂の歴史資料について

- 1) 歴史を知る手がかりになる資料を整理し、若い人たちに残していく必要がある。昔を体感できるような、新しいイメージの利用しやすい歴史資料館を整備し、歴史が身近になるような事業を
- 2) 滝の湯地区、郷土資料館の倉庫にある資料の有効活用、展示場所をどのようにしていくのか協議したい
- 3) 留辺蘂町史の編さん
- 4) 歴史的記念碑の歴史探訪ツアーなどを実施し、観光ルートとして宣伝活動

文化スポーツ振興

- 1) 福祉とスポーツの町を復活を
- 2) 街に元気がなくなったので、もっとスポーツの振興を
- 3) 八方台スキー場の有効活用
- 4) 弓道館の整備（ねんりんピック開催に合わせて）
- 5) 文芸合宿の誘致

産業の振興

- 1) 亜麻の栽培を推進しては
- 2) 白花豆の生産地として、ブランド化を農協と協力して強化すべき
- 3) 「馬喰一代」の中山正男が生まれた地ということで、馬肉の生産をしては
- 4) エゾ鹿対策として、鹿牧場を作り食用にしては
- 5) 農業・林業・観光の振興
- 6) 温根湯を観光拠点として、再生整備進めてほしい
- 7) 自治区で育てた産業振興
- 8) 産業まつりについて

公共施設の有効活用

- 1) 図書館の案内看板の作成
- 2) 公共施設の案内看板少なすぎるので、案内看板等を作成し、施設の有効活用を図ってほしい

その他

- 1) これまでに開催されてきたイベントの在り方を検討のうえ見直しを
- 2) 市民憲章の普及・啓蒙
- 3) 自治区のホームページの有効活用
- 4) 留辺蘂市街地区の中に住民が気軽に使える公園の整備
- 5) 道の駅を拠点に、木のおもちゃのリサイクル市を開催、木のまち留辺蘂として、自治区全体で取り組んでいきたい
- 6) 自治区の定住化対策